

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】新規輸出促進緊急対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111(内2918)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 18,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	18,000	0	0	0	0	0	0	0	18,000
決定額	16,000	16,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

原油価格高騰等に伴う資材費、原材料費等の上昇が、農業者、食品製造事業者の経営を圧迫している。その一方で、円安基調は輸出を拡大する好機である。

しかしながら、経営環境が悪化している事業者には、輸出のために必要な商談(渡航費等)や相手国のニーズに適応した商品改良(包装等)、規制対応(残留農薬検査等)などの経費は負担となっている。

(2) 事業内容

生産コストの増加により経営が悪化している事業者を対象に、輸出拡大に向けた取組みを支援する緊急事業を実施する。

事業主体：農畜水産業者、農業協同組合、漁業協同組合、食品製造事業者等
又は上記のいずれかが含まれるグループ

対象経費：・商談に必要な経費(渡航費、商談会参加、販促資材作成等)
・相手国の規制、ニーズへの対応経費(残留農薬検査、商品改善等)
・輸出向けの試作品作成にかかる経費(簡易な備品整備を含む)等

補 助 率：3/4 (補助限度額 4,500千円)

要 件：原油価格高騰に起因し、前年同月比5%以上の生産経費(資材費、原料費等)の増加が生じていること。

(3) 県負担・補助率の考え方

原油価格・物価高騰により経営環境が悪化している中、県の重要施策である輸出に意欲的に取り組む農業者等を支援するものであり、県負担及び補助率は妥当である。

(4) 類似事業の有無

新規輸出品目促進事業費補助金

- ・事業要件（生産経費の増加）を課していない。
- ・補助率、上限補助金額が異なる。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金	18,000	
その他		
合計	18,000	

決定額の考え方

補助率を2/3とし、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H31.3策定）
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり
- ・ぎふ農業・農村基本計画（R3.3策定）
（3）① 輸出拡大の強化

(2) 国・他県の状況

国においては、農林水産物の輸出を2030年までに5兆円とすることを目指し、国別・品目別輸出戦略を策定するなど、農林水産物の輸出拡大に取り組んでいる。

(3) 後年度の財政負担

原油・物価高騰等緊急対策であるため、後年度負担はなし。

(4) 事業主体及びその妥当性

経営環境が悪化している農業者等を緊急的に支援するものであり、その支援は妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	新規輸出促進緊急対策事業費補助金
補助事業者（団体）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜水産業者、農協、漁協、食品製造事業者等 ・ 上記のいずれかが含まれるグループ （理由）輸出に意欲のある農畜水産業者等を協力を支援する必要があるため。
補助事業の概要	（目的）コスト増により経営が悪化している事業者の輸出拡大を支援する。 （内容）輸出拡大に向けた取組みにかかる経費に対する補助
補助率・補助単価等	定率 （内容）3 / 4 （理由）経営環境が悪化している中、県の重要施策である輸出に意欲的に取り組む農業者等を支援するため
補助効果	輸出品目の拡大、輸出額の増加
終期の設定	終期 令和4年度 （理由）原油・物価高騰等緊急対策のため

(事業目標)

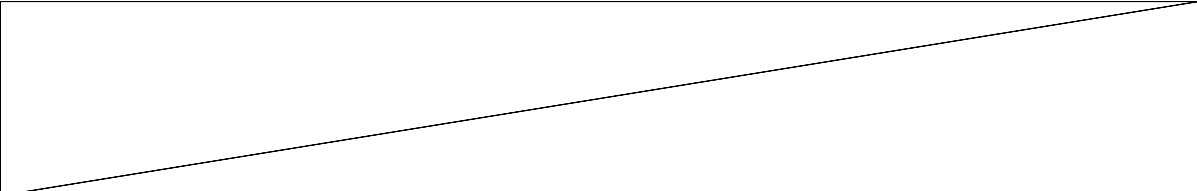
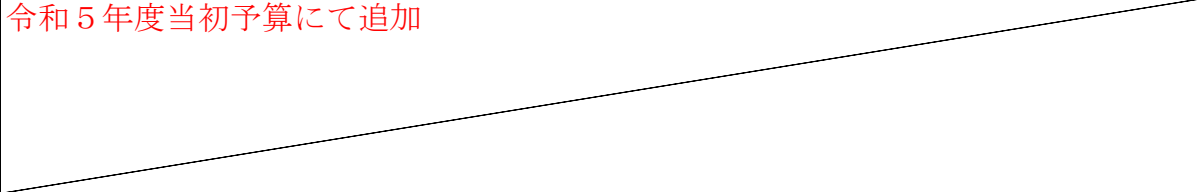
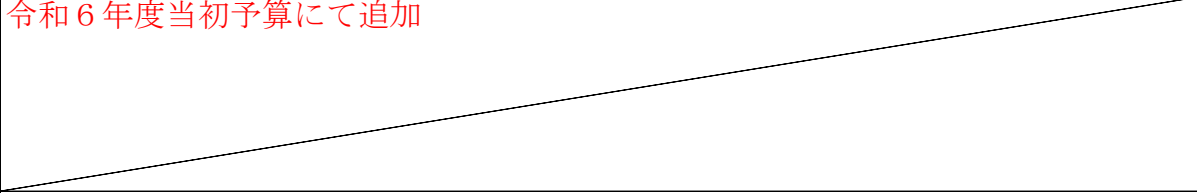
<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 輸出拡大により農業者等の経営安定を図るとともに、農畜水産物の輸出額の更なる増加につなげる。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標 (R4)	達成率
	農畜水産物の輸出額 (億円)	/	/	/	21.0	

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	/	/	9,735

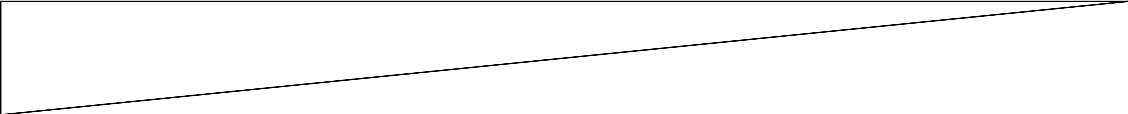
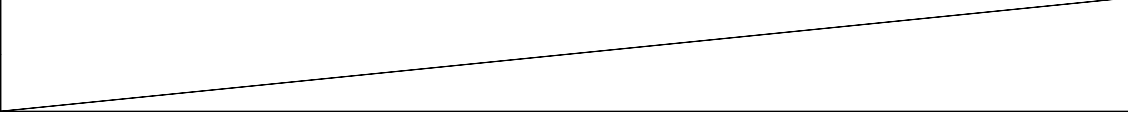
(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

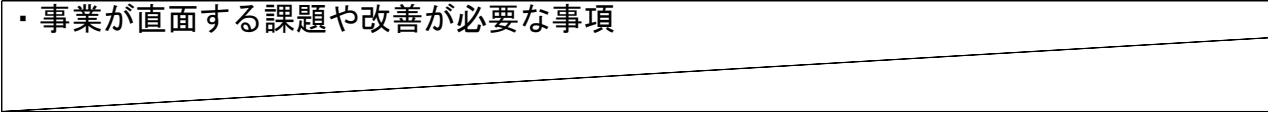
令和5年度当初予算にて追加

令和6年度当初予算にて追加

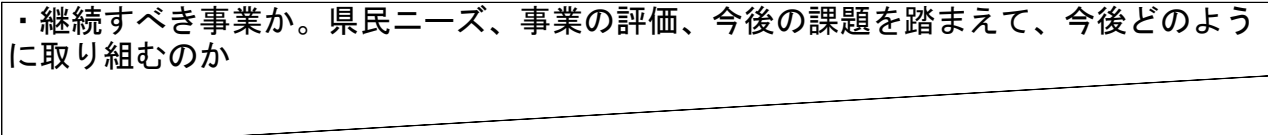
(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	原油・物価等高騰対策として、迅速な実施が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 	
---	--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 	
--	--